

「卒業」

Lee Ji Yun



1991-1-27

89年2月、2回目の韓国旅行に出かけた折、釜山のレコード店のショーウィンドウで、非常に印象的なアルバムジャケットを見つめた。豪い顔の美女が首を傾げた白黒写真に、淡彩を施したレトロ調のもので、これがまあ書つてみれば僕と彼女の出会いだったわけだ。歌より先に顔から注目するところが、既に僕の本領発揮である。これが、ちょうどその頃大ヒットしていた「風よ止んでおくれ」を歌っているイジヨンのセカンドアルバムだと知ったのは、しばらく後のことだった。帰国直前に友人のファン君からのお土産の申し出に、一件のアルバムを選んだ。

で、日本に帰つて針を落として以来、すっかり入れ込んでしまった。歌唱力があるとは言いたいが、何と言つても美人だし(+)ひた向きな歌い方にも好感を持つた。曲にも恵まれていて、アルバム全十曲中では先述の「風よ・・・」と「その後では」の2曲が、韓國若手切ってのメロディメーカー・チョンヨンノクの作品で群を抜いていたし(余談だが「その後では」はチョンヨンノク自身が新しいアルバムに収録していく、「これもなかなか良い。」ほかに「悲しいよなら」「あなた」も割とヒットしたようだ。

しかし、何と書つてもA面3曲目の「卒業」に肩入れしたい。アルバムの中では地味目なフオーラー調の曲だが、この外気に入つた。ピアノのインストローに統いて、若者たちの達のよくな笑い声と控えめなストリングに歌われるよう歌が始まり、低声の素人っぽいコーラスが、イジヨンの声に溶け込んで歌い繋がれる。間奏時にもざわめきの効果音が入り、おしまいには、祝賀の拍手や歓呼の声まで聞こえて「卒業」の臨場感を醸し出している。実はこのコーラスも効果音も、イジヨンの同級生40人の友情出演になると言う事だ。

詞の内容も「いよいよ卒業、別れの時が迫る。再びここに戻ることは出来なくとも、喜びと悲しみを共にしてきた私達の友愛と思い出を忘れまい」と言う、典型的な別れの歌だが、悲しみの中に希望や不安や憧れの入り混じる、恩春期特有の甘美な感傷が巧まずして表現されている。

イジヨンは1970年生れで、デビューは87年。88年度KBS歌謡大賞で最優秀新人賞に輝いた。この年は女性ではイサンウン、ヤンスギヨン、男性ではパンナムジュンなど、大型新人製作の年だったから、彼らを押さえてのこの受賞は非常に価値あるものだろう。この時のビデオを後で見たが、イジヨンは赤いドレスで「私はまだ愛を知らない」を泣きながら歌っていたのが初々しくて印象的だった。そんな順調な歌手生活を始めたイジヨンも、韓国の女性の間では今ひとつ評判が良くなかった。僕が「好きな歌手はイジヨン」と言うと、決まって「何てあんなのがいいの?」的な反応が返ってきた。アイドル歌手と言つて、数年前までは存在しなかつた(らしい)韓国では、かなりバッシングがきついと感じたものだ。それでも「卒業」は、比較的好まれていたようだ、大学路で女学生がこの曲をギターで弾き語りしているのに出会つたし、何と最新のアルバムIIIにも、この曲が再録されている。いかにも女学生趣味だから、卒業の季節になるとキャンバースで愛唱されるのはなかろうか?そういう意味では柏原芳恵の「春なのに」に似たポジションの曲なのかもしれない。

ところで、肝心のイジヨンは、昨年秋口に中年実業家と恋愛事件を起こし、僕が韓国に出かける一週間ほど前に、恋人と美國(アメリカ)へ愛の逃避行をはかつた。到着して数時間後に、このニュースを知らされた僕の心境は想像にまかせる。新曲「遠くはないでしょ」を、どんな気持ちで、聞かねばならなかつたことか。スキヤンダルには過敏な韓国人のことだから、しばらく(あるいは半永久的に)彼女の復帰は望めないかも知れない。韓国の卒業式は日本よりも早い2月だが、今年は「卒業」の曲が流れることもあり期待できそうがないだろうなど、いらぬ心配をしている今日この頃である。

졸업

유영민 작사 유영민 작곡 이지연 노래

C Dm G₇ C Dm
우리 그런 말은 말아요—
우리 이밤이 새고 나면—

G₇ C Dm
그냥 이대로— 아대로—
이젠 해어져야 하지만—
하고 봇이 야기—는 많아도—
그술한 우리들—의 이 야기—

1. G₇ C G₇ C E₇
마음에 간직한채로 우리 잊지마 오 기쁠때나
A_m F G₇ E₇ A_m
술 풀베—나— 같이 웃고—울—던 우리들의 사—랑
F G₇ C Dm
우리 잊지—말—아—요 아름답던 우리·옛 추억—

G₇ C Dm
따스했던 우리들 마음— 이전 다시울—수 없이도—
G₇ C Dm G₇ C
우리 잊지마 오
D.S. al Coda
우리 잊지마 오

卒業

言葉にならぬ その訳は
唯そのままに そのままに
話題の種は 尽きぬとも
胸の小函に 鍵かけて
一夜明ければ 私達
さうに別れる 外はなし
数へされない 捜話
嬉しき時も 悲しきも
やよ忘るなよ 忘るなよ
追憶遙かに 脣しく
同窓の愛 忘るまじ
共に笑へり はた泣けり
友愛溢る 心映え
再び戻す 術無くも
など忘れじよ 忘れじよ

